

# 日南市中心市街地活性化基本計画(案)に対するパブリックコメント実施結果

[実施期間:平成24年9月5日～平成24年9月19日、意見の提出者数・提出件数:2名 5件]

意見の処理区分	
A: 意見の趣旨等を基本計画案に盛り込むもの	C: 基本計画案には盛り込まないもの
B: 意見の趣旨等は既に基本計画案に盛り込み済みと考えるもの	D: その他意見・要望・感想等

No.	意見概要	市の考え方	処理区分
1	<p>・商業に関すること</p> <p>過去の取組が成らなかった理由として、資金、企画及び運営が課題と分析されている。テナントミックスサポート事業のような起業家を支える事業も必要であるが、起業家自身を育成し、起業が安定するよう誘導する仕組みも必要であると感じている。</p>	<p>テナントミックスサポート事業では、魅力的な商業空間を形成するために、業種の配置や魅力ある店舗の発掘を戦略的に行う専門家を配置することとしています。</p> <p>この専門家の戦略により、既存の店舗や新たに出店する店舗の魅力の形成はもちろんですが、併せて日南商工会議所と連携して個店の経営指導を行うことで、長く店舗経営できる環境を整えることとしています。</p>	B
2	<p>・観光に関すること</p> <p>ここ近年の取組が成果に繋がっていると思う。今後も持続するような取組と展開が必要である。特に「食」については、まちの強みであると思うので、観光施設整備よりも力をいれてほしいと考えている。少ない投資で大きな成果、食は経済効果が高いと聞く。</p>	<p>御意見いただきましたとおり、近年の飢肥の「食べあるき町あるき」や新ご当地グルメの「日南一本釣りカツオ炙り重」が、本市を訪れる方に大変好評をいただいております。また、本市の経済力の向上にもつながっていることから、「食」を活用したまちづくりは、本市の様な地方都市には有効な手段であると考えております。</p> <p>そのため、本市の魅力拠点となる中心市街地においても</p> <p>① 現在の「日南一本釣りカツオ炙り重」の取扱店舗の増加や、新たなご当地グルメを開発する『食文化発信事業』</p> <p>② 地場産品を活用したグルメモール(屋台村)を整備する『食の交流事業』</p> <p>など、「食」を活用した取組を率先して進めることとしています。</p> <p>また、油津港第一突堤に整備を計画しています『観光拠点施設』については、市内各地の産品を取り扱った「食」の提供や、加工品等の展示・販売するアンテナショップとして位置付け、市内各地を訪れてもらうPR拠点とすることとしています。</p> <p>御意見をいただきましたとおり、施設整備は、新たな顧客を呼び込むスタート地点の整備でしかなく、まちの活性化(大きな成果)というゴールに向けては、「食」などのツールを活かしたソフト的な展開が重要ですので、市民や民間事業所の皆様のご協力が必要であると考えております。</p>	B

# 日南市中心市街地活性化基本計画(案)に対するパブリックコメント実施結果

[実施期間:平成24年9月5日～平成24年9月19日、意見の提出者数・提出件数:2名 5件]

意見の処理区分	
A: 意見の趣旨等を基本計画案に盛り込むもの	C: 基本計画案には盛り込まないもの
B: 意見の趣旨等は既に基本計画案に盛り込み済みと考えるもの	D: その他意見・要望・感想等

No.	意見概要	市の考え方	処理区分
3	<p>・駐車場整備と公共交通機関</p> <p>本市は、超高齢化社会(22年度31.0%、P2参照)であり、総合的な公共交通機関の整備は重要である。(高齢者は免許返納などを行うため)歩いて暮らせるコンパクトシティ創設の一方で立体駐車場の整備が記されている。対象を明確にし、事前評価を十分にし、行き過ぎたハード整備にならないようにしてほしい。</p>	<p>御意見いただきましたとおり、「歩いて暮らせるコンパクトシティ」という一方で、「立体駐車場の整備」など、車社会への対応といった、一見矛盾した取組をしているように感じられる方もいらっしゃると思います。</p> <p>しかしながら、中心市街地が「住んでも訪れても快適で魅力あるまち」であるためには、高齢者などの交通弱者だけが快適であれば良いというものではなく、現代の車社会においては、車を利用する方々にとっても快適である必要があります。</p> <p>現在の中心市街地には、各店舗等が各自専用駐車場を設けておりますが、なんとなくまちを訪れた方が、自由に気兼ねなく車を止められる駐車場がありません。</p> <p>そのため、今回の計画においては、各種事業を実施し、中心市街地に人を呼び込んでいくにあたって、必要とされる最低限の駐車場整備を行うこととしています。</p>	D
4	<p>・治安がよく安全に暮らせる</p> <p>本市の一番の強みであると思う。隣接する宮崎市は元気なまちであるが本市のようなのどかさはない。東九州自動車道が開通すれば十分に生活圏となる。ベッタウン化については、重点的に取組み人口増を図ってほしい。</p>	<p>御意見いただきましたとおり、東九州自動車道の開通により、本市と宮崎市の移動時間は、約60分から40分程度にまで短縮され、本市は、十分に宮崎市のベッタウンと成りうる位置にあります。</p> <p>また、本市は自然豊かなのどかなまちで、自然にふれあいながら子育てができることや、都市部に比べ地価が安く、マイホームを取得しやすいなどのメリットを有しています。</p> <p>これらのメリットを活かすとともに、さらに本市の魅力を高め、現在、宮崎市で働く労働者やその家族の移住を促進していくためにも、本市の魅力拠点となる中心市街地の形成が必要となっています。</p> <p>今後は、中心市街地の活性化と併せ、移住を希望される方のニーズに即した事業を展開し、本市への移住を促進していくこととしています。</p>	D

# 日南市中心市街地活性化基本計画(案)に対するパブリックコメント実施結果

[実施期間:平成24年9月5日～平成24年9月19日、意見の提出者数・提出件数: 2名 5件]

意見の処理区分	
A: 意見の趣旨等を基本計画案に盛り込むもの	C: 基本計画案には盛り込まないもの
B: 意見の趣旨等は既に基本計画案に盛り込み済みと考えるもの	D: その他意見・要望・感想等

No.	意見概要	市の考え方	処理区分
5	<p>・商業の事業 商店街などがいろいろなことをされているようですが、本当に実行されるのか疑問です。 今までも補助金をもらいながら、色々とやっていましたが、その結果が今ではないでしょうか？ 仮に計画されていることをやったとしても、補助金がもらえなくなったらやらなくなるんなら、はじめからやらなくてもいいと思います。</p>	<p>基本計画案の96～101頁に記載しておりますとおり、商店街の活性化については、これまでに様々な取組を行ってきましたが、御意見をいただきましたとおり、現状は非常に厳しい状況です。 中心市街地の活性化は、商店街だけではなく、まち全体の活力を高めることにありますが、やはり、人が訪れ、楽しめる空間を創るためには、商業の活性化は必要不可欠なものです。 そのため、今回の計画を策定するにあたっては、商店街の方、日南商工会議所、日南まちづくり株式会社、市などが連携して、今までの手法や体制を十分に反省・分析し、高い効果や持続的に実施できる取組を研究してきました。 計画している取組には、市が一時的に支援(補助金)をすることが必要なものもありますが、支援がなくても商店街の皆さんが自分達でやるんだという意欲の基に計画された取組ですので、未永く展開されていくものと考えています。</p>	D